

3 学期分東久留米市学校給食運営協議会について（報告）

開催日時	令和5年 3月10日（金）午後3時00分～午後4時30分
会場	わくわく健康プラザ1階 講堂
出席者	協議会委員：29人（欠席3名、代理出席6名） 事務局：教育部学務課保健給食係
傍聴者	2名

【議事内容】

1 座長、副座長の選出

- ・座長は、1学期に配付した資料において、学務課長を座長に選任することについて承認されています。
- ・学校給食運営協議会設置要綱に従い、座長の指名により次のとおり副座長を決定しました。

座長：教育部学務課長 田口 純也

副座長：小山小学校副校長 岩本 里美

2 食育について

- ・「地場野菜を活用した食育・コロナ禍における ICT を活用した給食指導」と題し、『くるめ産給食の日』で使用した動画の食育指導教材などを紹介、説明しました。

3 中学校給食について

（事務局）

- ・担当課では、市長が表明したあたたかい献立の提供について調査・検討に取り組んできました。学校で温め直す方式、調理場から温かいまま配送する方式、それらの中にも様々な方式が考えられ、いくつかの方式を比較検討しました。A方式として、学校に配送したランチボックスを、大容量の電子レンジ機器でそのまま温め直して提供する方式、B方式として、温かいものを保温食缶で配送し、学校で既存のランチボックスに配膳して提供する方式、C方式として、ランチボックスとは別に、温かいものをマグカップ大の個別容器で配送して、そのまま提供する方式です。それぞれの案を考察しますと、学校で温め直すA方式では、調理施設・設備を学校に整備するにあたっ

て困難な課題が多く、実現可能性が低いと判断せざるを得ませんでした。一方、温かいまま配送する方式のうち、B方式では、学校内での運搬や教室での配膳場所の確保、学校時程の中での配膳時間の捻出などに課題があるほか、実施回数を増やすためには調理場の大規模な改修が必要となります。C方式では実施回数を増やすにはやはり調理場の改修が必要となりますが、B方式に比べて、温かいスープ類の他にも、カレーなどのルーや麺類のソース・つけ汁、フルーツポンチのようなデザートを提供も可能であり、献立のバリエーションが豊富であることや学校への様々な影響を避けることができる点で優れていると考え、C方式での実施を前提とすることとしました。導入の時期ですが、生徒たちにできるだけ多くの回数を提供するためには、調理場の改修が必要となりますので、受託事業者との調整、改修工事の設計、調理場の改修工事、必要物品の購入などを経て、現時点では令和7年度の夏休み明けを目指してまいりたいと考えています。

4 その他（懇談会）

小学校

（副座長）

- ・「2食育について」で紹介・説明のあった食育指導の教材について、学校では農家の方々の動画の反応が良かったです。社会科で実際見学した畑で収穫されたほうれん草が、くるめ産給食の日にスパゲティの具として提供される等、連携のしやすい学習となりました。小山小の総合の学習では、校内で育てた野菜を給食に出す取り組みもしています。3年生の国語では学校自慢で給食を取り上げたグループが多く、栄養士に直接インタビューをして子校の三小と合わせて小山小で1000食以上作っていることなども知ることができました。

（給食受託業者委員）

- ・東久留米市は地場野菜を積極的に使っている印象があります。土が多く着いているのでよく洗い、虫がついていないかよく確認する等の配慮が必要ですが、調理すること自体が食育につながると考え、おいしく安全に食べてもらえるように工夫しています。
- ・動画作成に調理員も協力しています。調理動画は子どもたちにとっても人気があります。
- ・ワゴンの受け渡しで子どもたちと触れ合い、6年生を送る会に招待されたりもしました。
- ・冷凍や既製品を使わず、手作りしています。栄養士から残菜が少ないと聞くと調理員も嬉しいです。

(保護者委員)

- ・嫌いなもの、苦手なものでも定期的に出ることで今では食べられるようになりました。
- ・サラダが好き、給食の野菜はおいしいと言っています。豆のさやむき体験後や、学校農園で作った野菜が給食に出ると喜ぶし、自分で手伝ったり作ったりした野菜は苦手でも完食できています。今後も続けてほしいです。
- ・コロナ禍での入学で通常の給食が分からないですが、子どもは給食を楽しみにしています。今後はPTAでイベント(試食会)ができればいいと思います。
- ・児童数増で、ランチルームが教室になってしまったのが残念です。
- ・子どもたちが食べている様子がわかるイベントがあるとよいと思います。給食の動画を保護者も見られるようにしてほしいです。
- ・牛乳が苦手だが飲めるようになりました。ぬるいことがあるようで、もう少し冷たいまま出すことはできないでしょうか。牛乳とごはんを一緒に摂ることが疑問です。ジョアは喜んでいます。

(事務局)

- ・2学期開催分の懇談の場に代わるものとしてお寄せいただいたご意見について
 - 1 食育について、どのような指導内容か、狙い・目標・目的も含めて教えてください。
また、市の基本方針の関係部署への共有結果をお知らせください。
→ 食育については、栄養教諭を中心として各学校で取り組んでいます。学校ごとに食育の全体計画を策定しているので詳しくは学校へお尋ねください。市の基本方針については、策定してからだいぶ経過しているので、関係各課において改定に向けて現状の確認、情報収集する旨、共有しています。
 - 2 アレルギーの面談について、変更がない場合は一度のみというのは極端ではないでしょうか。また、ナッツ類の使用の見直しをお願いできないでしょうか。
→ アレルギーについては、小学校には各校に、中学校は学務課に栄養士がいて適宜対応していますので、ご心配な点があればご相談、お問い合わせいただければと思います。ナッツ類の使用の見直しについてですが、学校給食で使用する食材については国が定めた食品構成表というものがあり、ナッツ類はこれに記載されています。しかし、この構成表は現在は給食の実施基準には示されずあくまで参考となっています。一方、多様な食材を食べることも食育であるという観点もあるので、本市はナッツ類の使用制限を現在していません。くるみがアレルギー表示義務8品目に加えられるとの報道もありますので、今後、栄養士とも検討していきたいと考えています。

3 中学校給食のあたたかい献立提供の進捗について教えてください。また、生徒・保護者の意見を聞かずに進める方針も見直ししてください。

→ あたたかい献立の提供については、先にも説明した内容で検討しています。様々なご意見がある中、現行のスクールランチを基本として、汁物をつける形を前提に実現に向けて取り組んでいるところです。

4 会議の開催について、WEB開催も含めて年3回実施していただきたい。

→ 本協議会は委員数が多いことから、WEB開催では委員の方同士の意見交換も難しいと考えています。新型コロナも5類に移行しますので、対面での懇談の場を持てきたいと思います。

(中学校グループでも同じ内容を説明しました。)

中学校

(保護者委員)

・くるめ産給食の日の動画の指導教材ですが、中学校でも動画を全校放送したのでしょうか。また、小中は同じ内容ですか。もし同じであるなら、内容が小学生向けだったので、中学生向けには知るといっても活用に向けて作るべきではないでしょうか、今後どうしたらいいかを教える段階なのではないかと思います。

(座長)

・中学校は全クラスにモニターやスクリーンが配置されていないので、動画の放送は行わず、印刷したものを配付、掲示しました。今後は、各クラスにロールスクリーンとプロジェクターが配置される予定なので、それらを活用していきたいと考えています。また、内容についても今後検討してみたいと思います。

(保護者委員)

・タブレットも配付されていると思うので、そういった物をもっと活用していただきたいです。

(保護者委員)

・中学校給食のあり方についての意見を送っていますが、見ていただけていますか。ご説明いただいた内容では、市民に望まれた形にならないのではないのでしょうか。また、生徒が望んでいるものと合わないのではないのでしょうか。不満が出るのではないかと懸念しています。小学校と同じ方式を希望していますが、いかがですか。

(座長)

・学校給食に関してはこれまでも様々なご意見を伺っており、おっしゃっていただいているご意見もひとつのご意見として承っています。中学校給食の内容の充実については、市長が表明した基本方針に沿って取り組んでいます。また、小学校と同じ方式は調理場

建設に必要となる場所や建築費用等に大きな課題があり、難しいものと考えています。現行方式の中で色々ご意見いただき、できるところは改善していきたいと思います。

(栄養士委員)

- ・ こうして集まる機会もあまりないため、家庭でスクールランチについてどのような話をしているかなどを教えてください。また、献立を選ぶ基準を教えてくださいと思います。

(保護者委員)

- ・ Aランチの一括予約を利用しています。予約することを忘れることがないので、とてもよいです。
- ・ 家庭配布献立表を利用しています。子どもが毎日A Bのどちらかを選び、マーカーをして、それを見てネットで予約をしています。
- ・ 魚が美味しいと言っています。そのため、魚の献立を選ぶことが多いです。
- ・ いつも美味しいと言っています。
- ・ 近年、ナッツアレルギーがとて増えていると思っています。ナッツアレルギーの対応というか、スクールランチにナッツを使用することについて検討してほしいです。
- ・ ご飯が食べきれないことが多いようです。女子なので食べる量も少ないこともありますが、残すことがもったいなくて嫌だと言っています。ご飯の量を2段階にすることはできないでしょうか。もしくは、給食時間を5分でも延ばすことはできないでしょうか。高校生になった子供に聞くと、高校は中学校より給食時間が長く、ゆっくり食べられるとのこと、なぜ中学校だけ給食時間が短いのが不思議であると言っていました。

(栄養士委員)

- ・ ご飯の量については、今までも色々な意見をいただいています。足りないのでおかわりがほしい生徒もいるし、多くて残してしまうという生徒もいます。
- ・ ナッツの使用については、来年度の栄養士会で検討しようと考えています。

(副校長委員)

- ・ 給食時間が短いという話をよく聞きますが、早く食べ終わってしまう生徒も多くいて、実際すぐに食べ終わってしまい、休み時間を今か今かと待っている生徒もいます。

(保護者委員)

- ・ 小学校と違って、給食を運ぶためのエレベーターがないので、1階から4階まで運ぶのがとても大変だと聞いています。運ぶ距離もありますがとても重いらしく、特に、まだ体が小さい1年生が4階まで運ぶのは大変だと思うので、なんとかならないでしょうか。給食時間が足りないのに運ぶ時間も必要になるので、エレベーターはあった方がいいと思います。汁物がつくようになったら、さらに重くなるのではないかと心配しています。

(栄養士委員)

- ・ エレベーターの増設については、設置場所、設置費用の課題が大きいと聞いています。

汗物は一つのコンテナにいれられる数が限られているため、それほど重くはない予定です。

協議会の開催について

- ・次年度も日程が決まりましたら、開催通知をお送りします。
- ・欠席の場合はあらかじめ学務課にご連絡ください。その際は、代理の方の出席をお願いします。